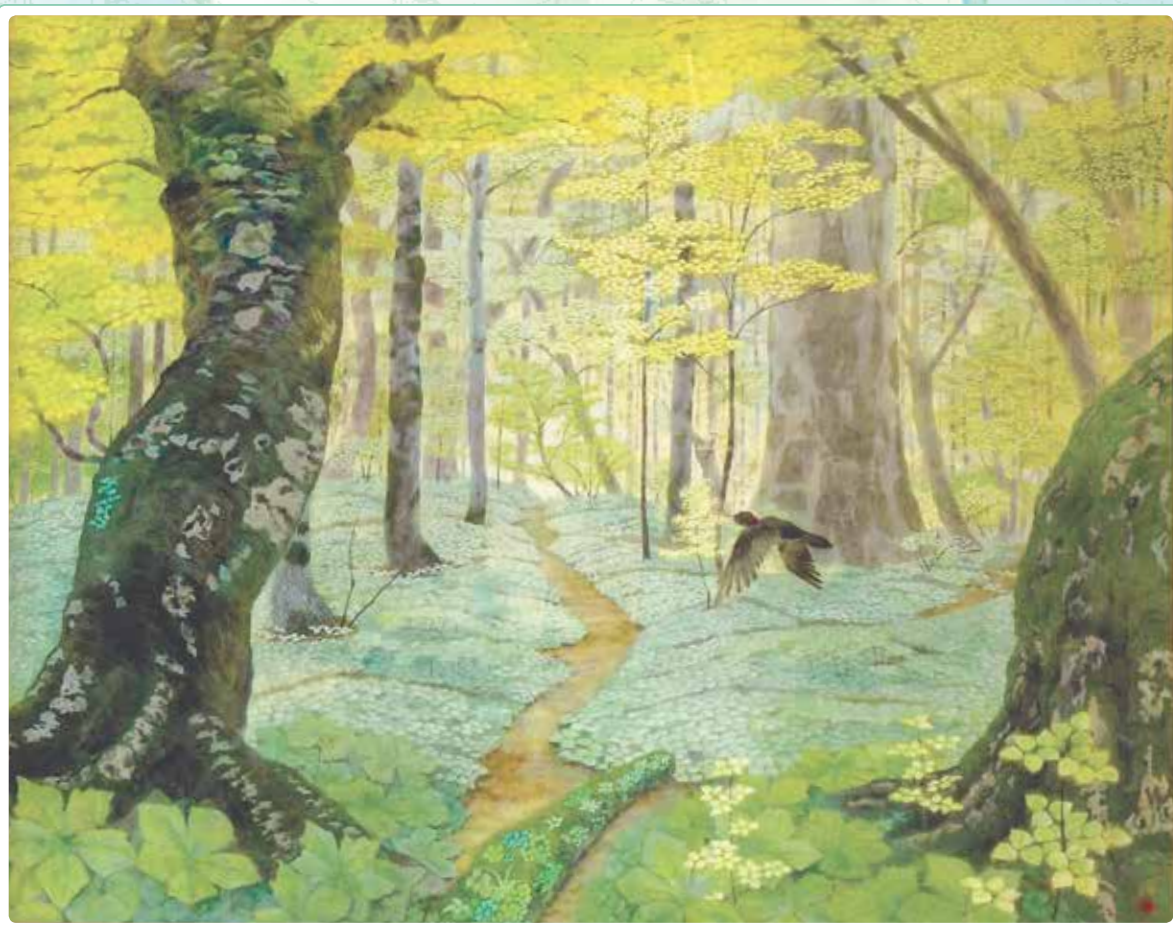


同窓生のための会報誌

和敬会だより

第23号



「森-クマゲラ」 猪熊佳子 / 大船キャンパス

鎌倉女子大学和敬会

〒247-8511 鎌倉市岩瀬 1420

☎ 0467-44-2111

和敬会HP <http://www.wakeikai.net>

鎌倉女子大学和敬会

検索

岩瀬キャンパス／中等部・高等部 新築工事の中間報告

理事長 福井 一光

岩瀬キャンパスの総合グラウンドから東方を眺めると、中庭を囲んだ、建築面積3973.25㎡、延床面積11301.66㎡のコの字型の新校舎を右手に見ながら、常緑樹の立ち木の向こうに、現在の初等部と本館を望むことが出来ます。躯体は、10月末で4階の床面までが建ち上がり、12月中旬までには屋上の床面も張られる予定です。

11月19日、モデルルームの準備が出来たということで、教室を見学させていただきました。

卒業生の皆様にはきっと思い出深いことでしょうが、かつてはコロニアル風の2階建て校舎の屋根を飾り、今では和敬会事務局が置かれている松本記念学舎の屋根を葺いているコバルトブルーの焼き瓦は、平積みにして4階に設える礼法室の床の間と、来客を迎える1階の玄関正面の壁面を装う予定です。その右手の壁には、紅い林檎の実に卒業生始めご芳志を寄せて頂いた方々のお名前を刻んだファミリーツリーを模した寄附銘板が。

「これだけの工事をするには、資材の全てを調達してから始めるもので、既に洗面台やトイレまで万端整えてあるのでご安心下さい。でも、工事の着工がもう半年遅かったら、コロナの煽りを受けて、海外からの資材も輸入出来ず、工期の大幅な延期を余

儀なくされてしまいました。本当にギリギリのタイミングでした」とは、長らく大型建築に携わった経験のある林施設管理部長の話です。

感染症の世界規模の拡散などということとは、想像もしていなかったこと。大船キャンパスを建設する時にもつくづく感じたことですが、大きな仕事であればあるだけ、一人、二人の努力で出来るわけもなく、本当に人知を超えた天の配剤としかいいようのない、正に人・物・時が全て結集しなければ、とても成就し得るものではないことをあらためて実感します。

この7月には、晴れの竣工を迎えます。



Withコロナとチーム和敬会

会長 深山 喜美子

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、不安と緊張の日々が続きました。未だ収束の見えない状況ですが、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。口頭から和敬会活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

和敬会本部も健康安全を第一に考えて、活動自粛期間を設けました。その後、活動を再開しましたが、会員の皆様には、ご不便をおかけしたのではと案じております。

活動自粛期間は、先輩方が築いてこられた和敬会活動を振り返り、これからのチーム和敬会のあり方を考える時となりました。不易流行という言葉がありますが、これまでの良いところはさらに大切に、会員のためになることは改善していくことが大切であると思います。和敬会は、母校への思いを共有しながら会員同士のつながりを深め、母校と同窓生をつなぐ役割があります。しかし、コロナ禍で直接お会いすることができない状態が続き、心の距離まで離れてしまつたのではないかと心配しております。

和敬会の情報発信は、「和敬会だより」と「和敬会ホームページ」があります。直接、お会いすることが難しい状況の中、本部も支部も、会員の皆様とのつながりをどのように工夫したらよいのか大変悩んでおります。「新しい生活様式」の工夫が求め

られている現在、直接お会いすることができなくても、連携する方法はたくさんあります。情報の共有と共に会員の絆を深め、皆様の心の距離が近づくことを願って、ホームページの活用を進めます。ぜひご確認ください。これも和敬会の新たな一ページになることでしょう。

母校では、休校期間やその後も、理事長先生はじめ諸先生方のご指導により、児童生徒学生の学習や生活が保障されるよう様々な工夫をしてくださいました。ご準備くださった先生方に心より感謝申し上げます。また、岩瀬キャンパス整備に伴い、これまで和敬会事務局として使わせていただいた和敬会会館取り壊しのため、この春には、校内内に事務局が移転します。暫くの間クラス会等の使用ができません。

相手を大切に思ふことは、大切な命を守ることです。世の中が落ち着いて、一緒に笑顔でお会いできることを楽しみに、今できるコロナ対策をきちんと進めて自他の命を守っていきましょう。会員の皆様の健康が守られますようお祈りしております。

今年度も、和敬会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、会長として和敬会の発展のためにご尽力くださった菅原憲子先生のご逝去を悼み心よりご冥福をお祈りいたします。



「松本生太記念学舎」ありがとう！

学祖松本生太先生の生誕100年を記念して、昭和55年に作られた「松本生太記念学舎」の中に、和敬会会館として平成16年7月30日会館開きをし、和敬会の事務局を置かせていただきました。

記念学舎は、中・高等部の立居振舞講座、茶道部の部活動、初等部の礼法指導と美しい所作を学ぶ場として使われてきました。

岩瀬キャンパスの整備に伴い建物は解体されますが、「屋根は人間の頭に当たるもの。最高の物を使うように！」と、生太先生が指示された大事な屋根瓦は、新たな場所へと伝統とともに受け継がれていきます。

和敬会の事務局は、今後も岩瀬キャンパスに置かれ活動を続けていきます。

立居振舞講座について

中・高等部教諭 江口 由美



中・高等部で実施されている立居振舞講座は、茶道・香道丹月流家元の大島麗月先生を講師としてお迎えし、自然に囲まれた松本生太記念学舎で行われています。風呂敷の包み方やお茶の点て方などの伝統的な日本の礼儀作法だけでなく、ご挨拶やお菓子の頂き方など、日常的な作法も丁寧に学びます。どの学年も、落ち着いた雰囲気の中、一つひとつの動作を美しく行うことの大切さを改めて実感することができました。

茶道部の活動について

中・高等部教諭 藤田 絵里子
茶道部顧問



茶道部は、茶道・香道丹月流の家元である大島麗月先生のご指導のもと、高等部生のみで活動しています。全員が平点前を覚え、ステップアップとして立礼点前、大板点前、丸卓点前の中から選んで練習します。記念学舎がなくなってしまうのは残念ですが、新校舎に新しい礼法室が設置され、床の間の壁一面に現在の屋根瓦が飾られます。みどり祭では新しい礼法室でお茶会を開催しますので、ぜひいらして下さい。

礼法指導

初等部教諭 寺田 祐美子



記念学舎で、初等部生は、年に4回礼法指導の授業を行っています。今年度はコロナ禍の影響で礼法の授業を実際に行うことができず、オンラインで映像配信いたしました。

例年は和室に入る時の靴の脱ぎ方や、そろえ方、襖の開け方、閉め方、畳の部屋の歩き方等をはじめとして、実際にお茶をいれ、お菓子と一緒にみんなでお茶をいただく等、短い時間ですが心静かに自分を見つめなおす大切な授業の一つになっています。

学園の今

学びを支えるコロナ禍での学園の取り組み



中等部研修旅行(ブリティッシュヒルズ)



高等部修学旅行(ハウステンボス)

新型コロナウイルス 感染拡大防止とその中での授業

教務部長 松田 広則

全学的な協力体制のもと、オンラインでのオリエンテーションを経て、遠隔授業を5月中旬から開始しました。4月にはオンライン授業も想定し、学生・教員のコンピュータや通信環境等の設置状況を把握するためのアンケートを学事調査研究センターが実施し、遠隔授業の実現性を探りつつ、コンピュータ等の準備の協力も呼びかけていただきました。全教員対象に遠隔授業コンテンツ作成に関する説明会を開きました。授業開始当初は、授業でのネットワークトラブルを防ぐため先生にも時間的に余裕を持ったデータ配信に協力頂き、円滑な授業配信の最適な方法の模索もしていました。学生にも遠隔授業の疑問等に回答するサイトを開設し、大学の情報機器の利用を提供することで学生が受講できないことがないようにしました。また、教育の質も維持できるよう、実験・実技などの科目は、必要に応じ対面授業を感染状況が落ち着いた夏休みに十分な感染対策を施した上で行いました。この経験を基に秋学期は科目ごとに対面授業の機会を増やし3密や換気にも考慮し授業を実施しました。春の授業の学生からのアンケートも参考に秋にも教員向けに授業方法のセミナーを配信し、オンライン授業もスライドショー動画、映像などを利用した複数の授業方法の活用、質問に即時的に回答する機会を増やすなど更に工夫をして頂きました

コロナ禍における中・高等部での 取り組みについて

中・高等部 部長 小藤 俊樹

2月27日に政府より一斉休業要請が出され、中・高等部では、2月29日から臨時休業に入りました。4月5日には規模を縮小した入学式を挙行し、4月7日の登校日には、学習に必要な教材等を生徒に手渡すことができましたが、結局翌日から5月末まで臨時休業を継続しました。

臨時休業中は、「学びを止めない」「生徒とのつながりをもつ」の二つの視点を大切にしました。

まず、「学びを止めない」の取り組みとしては、以前より取り入れていた学習支援クラウドサービスのクラッシュと学校ホームページを併用して、教科の学習課題を提示し、生徒が課題を提出できるようにしました。また、途中からは一部オンライン授業もスタートさせた結果、アンケート調査では、ほとんどの生徒が「学習に取り組めている」と回答しました。

次に、「生徒との

ウィズコロナの学生募集と 入試に向けて

入試・広報センター長 河村 和宏

学生募集に携わっている私達入試広報センターのゴールは、卒業式ではなく入学式です。一年間、オープンキャンパスなどで学内を案内したり進学相談を受けたりしてきた高校生が本学を志望してくれて、新入生となった瞬間が至福の時なのです。その感慨がないままに今年度の学生募集が始まっただけでなく、対面してコミュニケーションを取ることも大きく制限されてしまいました。矢継ぎ早にオンラインオープンキャンパス「コト鎌倉」のサイトを立ち上げ、SNSも活用して積極的に情報発信する体制に切り替えました。

それでも夏には参加人数を制限しながら、完全予約制の「キャンパス見学会」を開催することができました。こうして対面型のイベントも再開しつつありますが、当面はオンラインが主流で、対面型とのハイブリッドで広報することになりそうです。

新入試もスタートしています

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施して安全・安心な受験環境を提供できるように苦心しているところです。



「オンラインみどり祭2020」 「コロナ禍での新たなチャレンジ」

学生センター長 大石 美佳

令和2年11月7日(土)、8日(日)、「オンラインみどり祭2020」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、「集まればそこがステージ」をテーマに、学生・教職員が「今できること」「今だからこそできること」の可能性を追求し、感染症拡大防止の対策を徹底して、録画によるオンライン配信にチャレンジしました。



鎌倉女子大学ならではの、学科展・ゼミ展・学友会・地域連携等の多彩な発表内容に加え、奈良由美子先生(放送大学教授、東京都新型コロナウイルス感染症医療アドバイザー)による「新型コロナウイルスと人間—レジリエントな生活・社会をつくる主体として—」をテーマにした講演などで、充実したみどり祭となりました。美しい大船キャンパスでの教育研究活動の様子、そして変わらぬ鎌倉女子大学の魅力をお届けできておりましたら幸いです。

「オンラインみどり祭2020」はこれまで築いてきたみどり祭の価値を改めて確認するとともに、新たな価値を創出する機会にもなりました。今年は大船キャンパスで皆様をお迎えできますことを願っております。

は入学式も含め、年度当初より登校できない状況となりました。

このような状況下において、初等部で真っ先に取り組んだことは、初等部生の学習に遅れが生じないよう、初等部教員による映像授業(オンデマンド配信)を全学年全教科等において4月9日より実施したことです。予め大學生と同様のアカウントを発行し、初等部生全員がログイン後、映像授業を見ることが可能となるようにいたしました。映像授業は、6月末において配信数600本を超えました。

6月からは、分散・時差登校を取り入れ徐々に学校を再開させ、7月には、ほぼ通常の時間割に戻すことができました。しかしながら、現在も、日常的にしっかりとした感染予防が不可欠のため、教室等は3密を避ける環境とし、マスクや必要に応じてフェースシールドを着用して授業を行っております。室外の広い場所でも音楽を、理科の観察を小集団ではなく個々で等、制限がある中で様々な工夫をしながら授業を行っております。

また、感染予防のため今年度は中止とした行事もいくつかありますが、1学期に予定していた運動会や修学旅行については、内容や実施方法を一部変更して、2学期に実施することになりました。

さらには、授業参観や保護者会についても分散しての開催いたしました。今後も、引き続きしっかりとした感染予防を行い、初等部生の学校生活の充実を図っていききたいと考えております。



菅原先生を偲んで

元会長として、和敬会を長く牽引していただいた
菅原憲子先生が令和2年8月20日に93歳でご逝去
されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



2003年10月 大船キャンパスでの総会にて

「お蔭さまで退職いたしました。」の1枚の葉書から、和敬会のお仕事をさせていたいただくことになり、ビックリ。
文章チェックの方法・和敬会の運営ポイント・支部への連絡等々細かくご指導を受けつつ、幹事の皆さんと楽しく10年間を過ごしました。
学生時代—あの懐かしの和敬寮生として門限7時を守りつつ過ごす中、菅原先生より「たまには気分転換に私の別荘へいらっしやいな」とお誘いを受けました。（別荘ってどんな所？）私達7名は喜々として湯河原へ

菅原憲子先生 ありがとう
家政学部児童学科昭和44年卒
前和敬会会長 金子 小夜美



2015年 米寿を祝って

お邪魔しました。お昼をいただいたり蜜柑をもらったりと楽しい一時を過ごしました。
この時の写真を見ると菅原先生も私達もいい笑顔です。

菅原憲子先生！私達も卒業して早52年！頑張っていますよ。



寮生と一緒に別荘にて（昭和42年ごろ）

菅原憲子先生を偲んで

元児童学部教授 三縄 公一

新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、未曾有の感染拡大を遂げた莫大な犠牲者を出した昨年の8月に、菅原憲子先生が亡くなられました。

先生とは約30数年の間、一緒に仕事をさせていただきました。先生の思い出は語り尽くせませんが、懐かしの思い出は日本各地での進学相談会にご一緒させていただいた事でしょ

か。先生は本学の建学の精神と教育方針を受験生と保護者・高校の先生方へ懇切丁寧に説いておられました。学内にあっては教務部長・調理学教授として、時には厳しく学生を指導した事もありましたが、真は心優しい先生でした。
誰よりも学園を愛し学園に生涯を捧げた方で、まさに我が学園の母のような存在でした。
ここに菅原憲子先生のご逝去を悼み、謹んで哀悼の祈りを捧げます。

思い出

家政学部家政学科昭和50年卒

河西 恵子

高校入試終了、雪の中、校門で「どうぞ、よろしくお願い致します」と振り返り挨拶した時「いい心がけね」と声をかけてくださったのが、菅原先生とのご縁の始まりでした。
大学入学後、調理学の実習で鯉のさばき方などを学んだことを思い出します。

卒業論文の「伝統行事と食生活」で指導をいただき、金沢文庫へ一緒にいらしたら、先生が熱心に調べてくださったことを思い出します。
又、ご指導を受けて、帰宅しようとしたら、靴がなくなっていました。

その時、實の子の上を上履で歩いても叱る先生が「好きな靴

を履いて帰れば」と言ったことに驚き、そのあとの優しいほほ笑みが忘れられません。
ご冥福をお祈りいたします。

合掌

菅原先生との思い出

家政学部家政学科平成3年卒

杉原 尚江

コロナ禍の暑い日に菅原先生の訃報を伺いました。

学生時代の菅原先生は大変厳しく、よくとおるお声で叱られました。

朝礼で毎回服装の事や上履きのかかとは踏まない指導をうける学生が時間とともに増えていきました。学生の間で先生がどちらの入口にいらっしやるか見ながらダッシュで行動していました。

卒業して和敬会総会や支部事業で先生にお会いする度「杉原さんはいつも変わらないわね」「遠いところからよく来ましたね」と覚えていてくださり嬉しく感じておりました。

厳しく温かく指導してくださった菅原先生。創立80周年の行事でお目にかかりたかったです。「あなたたちでしつかり頑張りなさいね」と大きな宿題を出されたような気がします。

先生のご冥福をこころよりお祈りいたします。

菅原先生、本当にありがとうございました。

令和元年度 和敬会収支決算書

収入の部

費 目	金 額
同 窓 会 費	5,943,000
雑 収 入	600
預 金・利 子	7,302
前年度繰越金	99,210,122
合 計	105,161,024

支出の部

費 目	金 額
和敬会便り出版費	4,854,337
支 部 費	651,384
ホームページ費	175,177
みどり祭費	575,933
運 営 費	430,736
事 務 費	130,000
設備・備品費	0
通信・連絡費	117,493
消 耗 品 費	64,111
和敬会館光熱費	120,000
慶 弔 費	0
総 会 費 用	0
支 出 合 計	7,119,171
繰 越 金	98,041,853
合 計	105,161,024

上記の通り相違ないことを報告いたします。

令和2年7月31日

会計監査

丸山典子
鈴木百合子

九州支部は、3年に1度の割合で支部会を開催しています。令和元年10月に深山会長に参加いただいて、長崎で開催しました。8名が参加し、近況報告や支部活動について



今年度、九州支部の支部長を金子前支部長より引き継ぎました吉田三知子です。
短大初教を昭和47年に卒業、長崎在住です。

「次の世代へ」

昭和47年 短期大学部初等教育科卒
九州支部長 吉田 三知子

支部だより 第9回

九州支部

話し合いました。また、日本三大夜景の一つである稲佐山からの夜景を眺めながらの夕食や、世界遺産の教会巡り等長崎ならではの会になりました。

年代は違っても同じキャンパスで学んだ思い出があるため、初めて会っても階段教室や松本講堂、黒の制服、校門での挨拶等で話がすぐ盛り上がりま

す。3年に1度しか会えませんが、九州各県に友人（先輩には失礼ですが）がいると思うと心が温かくなります。

支部会報告

甲信越支部

昭和44年 高等部卒

支部長 松井 千津子

この度、斎藤八重子さんが副支部長をお受け下さり、喜びで一杯です。

次回第10回は中国・四国支部です。

コロナ禍のため、支部会の開催が難しい状況ですが、



松井支部長（右）と
斎藤副支部長（左）

「関東支部」立ち上げ準備委員会より

昭和53年 児童学科卒

代表 今福 志保

関東地区の会員の皆様方には、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

現在、本委員会は「関東支部」発足と、発会記念の第一回支部総会の開催に向けて準備段階にあります。

新型コロナウイルスの猛威は衰えず計り知れないものがありますが、一日も早い収束を願い、皆さまとお会いできまます事を心待ちにしております。

地 方 支 部 ・ 支 部 長

北海道支部
東北支部
甲信越支部
北陸支部
東海支部
関西支部
中国・四国支部
九州支部
沖縄支部

※支部の運営に協力していただける方は事務局までご連絡ください

事務局からのお願い

『名簿変更届』の提出についてのお願い

和敬会の皆様には年1回4月19日前後に「和敬会だより」をお送りしています。皆様から、現在の母校について知ることができて楽しみとお声をいただき大変嬉しく思っています。皆様の同窓会費を大切に、有効に活用したいと考えています。

しかし、近年宛先不明による戻りが増えてきており令和2年は32,000通余を発送し、戻りは約1,400通でした。戻り便の費用につきましても年々負担が増えております。

そこで毎年お願いしておりますが、再度名簿の充実を図りたく下記の要領で皆様のご協力をお願いいたします。

◆「住所」「氏名」「住居表示」の変更がありましたら

① ホームページからは【鎌倉女子大学和敬会】で検索し「名簿情報変更届」より入力ください。

② 郵便（はがき・封書）は左記参照にてお知らせください。

特に地域で住居表示の変更が行われた場合、数年間（およそ5年間）は旧住所でも届きますが、それ以降は宛先不明となつて戻ってきてしまいますので速やかにご連絡ください。

◎ご事情により発送停止をご希望の場合もお知らせください。

◎ご友人の方で「和敬会だより」が届いていないという方がいらっしゃいましたら、事務局に正しい住所をお知らせいただき、確認するようお願いください。

住所の変更をお願いします。

氏名 鎌倉 敬子（旧姓 岩瀬）

旧住所 〒000-9999
福島県〇〇市〇〇2002番地
☎777-00-2222新住所 〒555-000
静岡県△△市△△2-30-40
☎6666-00-3333卒業学校・卒業年
初等部……〇年3月卒業
中等部
短期大学部〇〇科
大学 〇〇学科
大学院※本学園での卒業学校全てを記入
※卒業年があいまいな場合は、
生年月日を記入令和3年(2021年)
みどり祭のお知らせ

- ・令和3年11月6日（土）、7日（日）
大船キャンパス（大学・短大）
- ・令和3年11月13日（土）、14日（日）
岩瀬キャンパス（中高・初・幼）

*和敬会は、大船キャンパスおよび岩瀬キャンパスのみどり祭で「カフェ和敬会」と称し、同窓生の集いの場として参加を予定しています。どうぞお誘いあわせのうえお越しください

連絡先

【あて先】鎌倉女子大学和敬会事務局【住所】〒247-8511 神奈川県鎌倉市岩瀬1420番地【ホームページ】<http://www.wakeikai.net>「名簿情報変更届」より入力してください。電話対応は、毎月第1、第3火曜日の10時～14時です。
【和敬会事務局電話番号】050-1092-0473

同窓会やクラス会を企画する際に名簿が必要な場合、ホームページの申請用紙をプリントアウトしてご記入後、和敬会事務局まで郵送してください。その際、2名様の署名が必要となります。

編集後記

2020年は年初から新型コロナウイルス感染拡大に翻弄され、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、様々なイベントが中止や延期、規模縮小を余儀なくされました。これまでとは違う日常で、今までできていたことが、普段通りにできなくなった1年でしたが、本年も皆様に「和敬会だより」をお届けできましたこと嬉しく思います。

コロナ禍で不安・不便がありますが、花冷えの季節、心身ともに皆様くれぐれもご自愛のほどお過ごしください。

公開講座

鎌倉女子大学生涯学習センターでは、生涯にわたり、学び、学習活動の場として公開講座を開催しています。卒業生の皆様もぜひ参加してみたいか。講座内容は鎌倉女子大学ホームページ「生涯学習センター」でご覧ください。



鎌倉女子大学

<http://www.kamakura-u.ac.jp>

大船 キャンパス	大学院	大学 家政学部 児童学部 教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号	TEL.0467-44-2111(代表)	JR「大船駅」下車、徒歩8分
岩瀬 キャンパス	高等部	中等部	初等部
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420	TEL.0467-44-2200(代表)	JR「大船駅」下車、バス約10分